

野田九条通信

≡ やっぱりいまの憲法がいいね！ ≡

2019年6月162号

野田・九条の会 事務局

☎ 04-7122-0502



野田・九条の会

検索

5/5報告 平和のつどい・のだ 2019 プレイベント

主催 平和のための戦争展・野田 2019 実行委員会

原発を推進してきた東電の幹部、被災者や国民に嘘の説明で騙そうとする政治家や御用学者に加え、命を尊ぶべき医者たちまで！この腐りきった人間たちを告発する台詞の場面では会場から「そのとおり！」「そのうだ！」の合いの手が入った。その怒りの声は女性の方が多くような気がした。

最後に中村氏はこの絶望的な状況でも「何も心配しなえ」と語った。今や原発産業、フランスのアレバも本業を忘れて原発に走った東芝も風前の灯火。一方で自然エネルギーへの国際レベルの総投資額は、原発への投資額の10倍に膨らんでいる。「いつまでも原発にしが

帰ってきた反骨の一匹狼、ご存知木枯らし紋次郎！かつての必殺の剣を言葉という武器に替え一方の手には線量計をもち、原発事故惨禍の現状を全国の心ある人々に伝えようとさすらう啓蒙者。その中村敦夫氏が野田市にやって来てくれたのである。

かつてのまばゆい姿ではなく、79歳の少し背をかがめた姿で。しかしいざ朗読が始まると、背筋がピンと伸び、2時間立ったまま聞く者の心に染み渡るような東北訛りの語りがシーンと張り詰めた場内に響き渡った。

利権と強欲にまみれた原子力ムラの墮落した連中は何の反省も責任も取らず、今また再稼働を推進し、五輪開催を前にして原発事故を無きものにしてしようと帰還困難区域を次々と解除し、再び福島県民を放射能に晒そうとしている。この理不尽な暴挙にカーテンコールのステージから義憤と公憤という言葉を使って「ぜひ心の底からおごつて欲しい」と訴えかけた。個人的なレベルでの怒りは体に悪いが、世の中の不条理に対しては怒った方が健康に良いとエールを送ってくれた。

ピースパレードでは「戦争はいやだ！九条は変えさせない」と

死ねと叫ぶなら死ね。そしたら日本人にはなりたくねえ！

朗読劇「線量計が鳴る」



みつき、高速道路を逆方向へ突進してるボゲおやじはロシアのプーチンとアホノミクスぐれいだぞ」と言い残し

九条は変えさせない

ピースパレードでは「戦争はいやだ！九条は変えさせない」と



80人が櫻のホールから中央公民館まで力強く市民に訴えました。

再び線量計を鳴らしながら舞台袖に去って行った。公演はほぼ満員の大盛況でした。

今月の予定です	
皆さん 気軽に参加ください	
6月2日(日) 13:30~16:40	無料出陣会 & ディスカッション ● ゆとり教育~戦後最大の教育改革から ゆとり教育は何を残したが ● 健太の命~戦い続けた10年の夏 南部梅郷公民館 南地域九条の会
6月8日(土) 13:30~16:30	野田・九条の会 意見交換「日米安保条約 6月例会 あなたはどう考える」 櫻のホール 第1集会室 野田・九条の会
6月9日(日) 15:00~16:00	9の日 行動 九条通信配布とシール投票 清水公園貝塚前 野田・九条の会 <small>雨天の場合は中止します。</small>
6月19日(水) 16:00~17:00	9の日 行動 九条通信配布とシール投票 七光台駅改札口通路 野田・九条の会
6月20日(木) 13:30~15:30	ちよつと硬派な おしゃべりカフェ 政治や憲法のこと気軽に おしゃべりしませんか 北コミ 談話室 野田・九条の会
6月29日(土) 16:00~17:00	9の日 行動 九条通信配布とシール投票 梅郷駅改札通路 野田・九条の会

野党の共闘で

改憲させない

統一候補を擁立しよう

児童虐待かも
と思ったら

すぐ電話！

いちはやく

189

国民のことを考えているとは思えない

新元号令和が発表され、天皇の退位、新天皇即位の行事報道には違和感があります。新しい時代が始まるかのようなムードでマスコミは報道し、街中令和と書かれた商品の販売合戦等で盛り上がっていた光景はこの国の危うさを感じさせます。現政権は強権的にマスコミを上手に使い、政治利用しています。安倍首相は記者会見で新元号について「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」と語りますが「美しく心を寄せ合う」とは何なのでしょう。沖縄県民の民意に心を寄せず、美しい辺野古の海を土砂で埋め立てる行為は言ってることと大きくかけ離れてはいませんか。

私たちの国には元号が変わっても何一つ変わらない問題が山積していることを忘れてはなりません。安倍首相主催の桜を見る会に1万8千人も招待し、政治色の強いお祭り騒ぎに国民の税金を5千万円以上使うのは何のためなのか疑問です。また、防衛費は7年連続で増え続け、過去最高の5.2兆円を超えています。欠陥戦闘機のF35は一機116億円、この高価な戦闘機を147機も爆買いしようとする。これらは国民の暮らしや教育への支援をないがしろにし軍備拡大を優先させています。安全保障上で

危惧されるのは国内に存立している原発です。考えたくありませんがミサイルを数発打ち込まれたら日本は終わり。政治を司る方々はまず戦争をしないこと、そして憲法を活かし国民への擁護義務を果たす働きをしてほしいのです。

日本国憲法が国民を守る

安倍政権、自民党は夏の参議院選に向け改憲の議論を進めるよう野党に強く求めています。

既に破綻しているアベノミクスの失敗を認めず社会保障、年金、医療費の負担は増えています。雇用問題では非正規が拡大し続け、競争第一主義で弱者を切り捨て強いものだけが勝つ社会はますます貧富の格差を広げるばかりです。

国民の暮らしをかえりみず人々の関心度の低い改憲を首相の立場で公言するのは憲法99条の憲法の擁護義務からおかしいです。改憲は主権者の大多数の意思で行うべきで、憲法を精神を学ばず暴走する政治は終わりにさせましょう。

現憲法は基本的人権の保障、平和主義を謳い国民を守っています。私たちは誰かに頼るのではなく一人ひとりが不断の努力でこの憲法を護っていくのです。安倍首相がいう改憲に反対し、二度と戦争はしないと平和を願い、市民、野党みんなで声をかけあっていきましょう。

木枯らし紋次郎 考



小林 繁

1970年代に人気があった連続テレビ時代劇です。巨匠市川崑が監督したこともあってその主題歌とともに若者の間に大きな人気がありました。そのドラマで主人公の木枯らし紋次郎を演じたのが今回の朗読劇「線量計が鳴る」の中村敦夫さんでした。

そして主人公紋次郎が必ず口にした「あっしには関わりの無えことでござんす」のセリフでした。破れた旅笠に破れた合羽の紋次郎が行く先々で、苦しめられたり迫害を受けた人々が紋次郎の強さを見込んで助けを求めても、冷たく拒否するその

言葉が大きな人気の元でした。そして人々は大きな力のために命を失って行くのです。

テレビを見ながら「助けてやればいいのに」と思ったのは私だけではないでしょう。ちょうど時代が大学闘争から、ベトナム反戦、沖縄返還と大きな波がうねっている時でした。権力との衝突の過酷な経験の中でスーパーヒーローは現れない事がはっきりしていました。闘いは自ら立たなければ、例え負けるにしても生きることすら出来ないのだとそれは言っているようでした。そして物語は人々が、苦痛に沈んだ後に紋次郎の怒りが爆発する。そして悪行の限りを打倒してどこかに去っていく。そして少し気持ちが救われる。そんな時代とテレビドラマでした。